



2023年3月期 決算説明

日精樹脂工業株式会社
2023年6月2日

2023年3月期 業績の概要

2023年3月期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2023年3月期	52,205 (7.1%)	2,682 (4.0%)	2,427 (△17.4%)	1,835 (△31.5%)	94.13円
2022年3月期	48,731 (17.1%)	2,577 (125.1%)	2,940 (174.6%)	2,680 (347.6%)	137.43円

売上

・ 原材料や資源価格の急激な上昇および半導体等の部材不足を要因として、期中後半以降射出成形機需要は低下しましたが、大型機や特殊機の営業を強化したこと等から売上高は前期比7.1%増の522億5百万円となりました。

利益

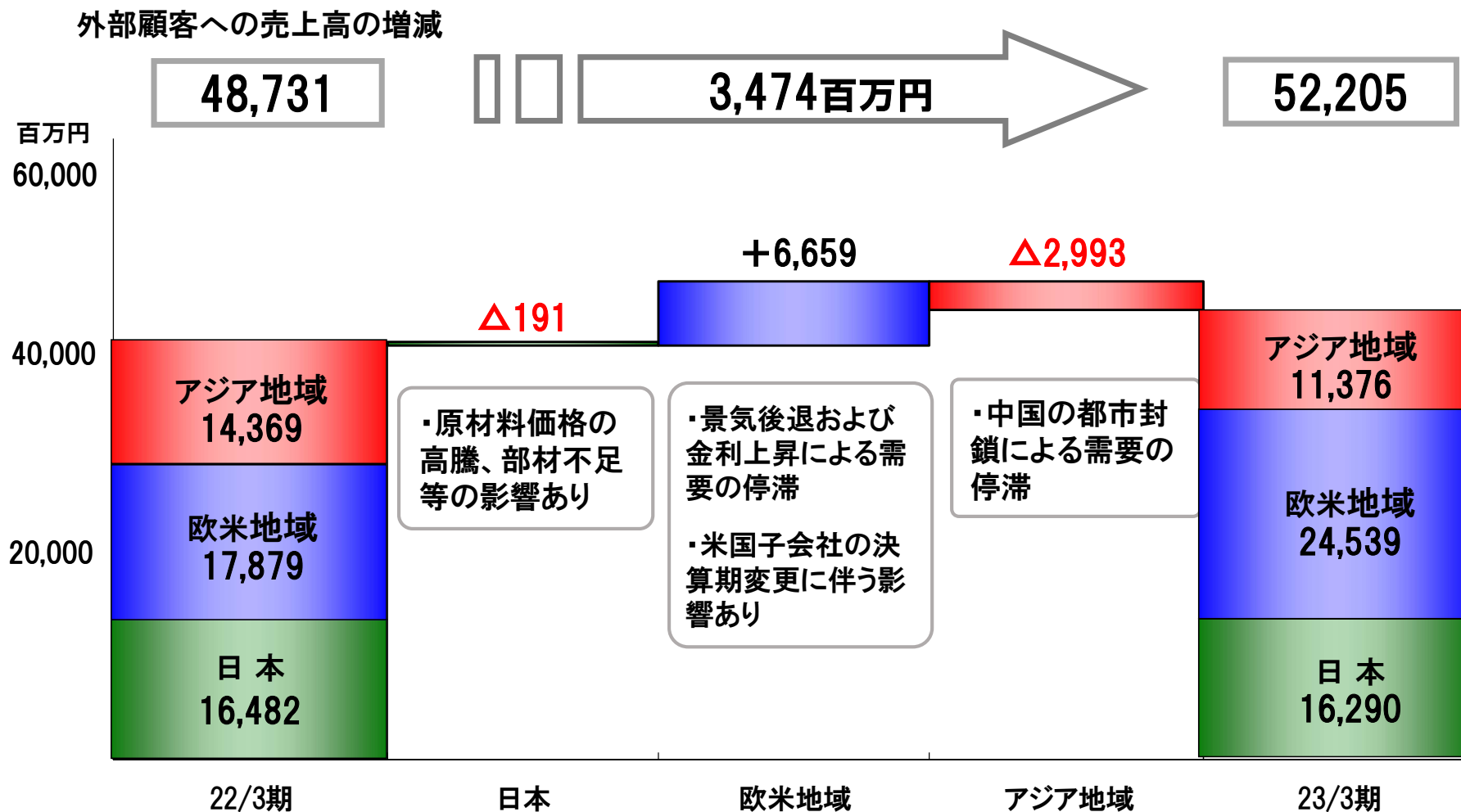
・ 営業利益は26億8千2百万円(前期比4.0%増)、経常利益は為替差損(5億3千5百万円)を計上したこと等から24億2千7百万円(前期比17.4%減)となり、これらの結果、当期純利益は18億3千5百万円(同31.5%減)となりました。

連結業績概要【前期比】

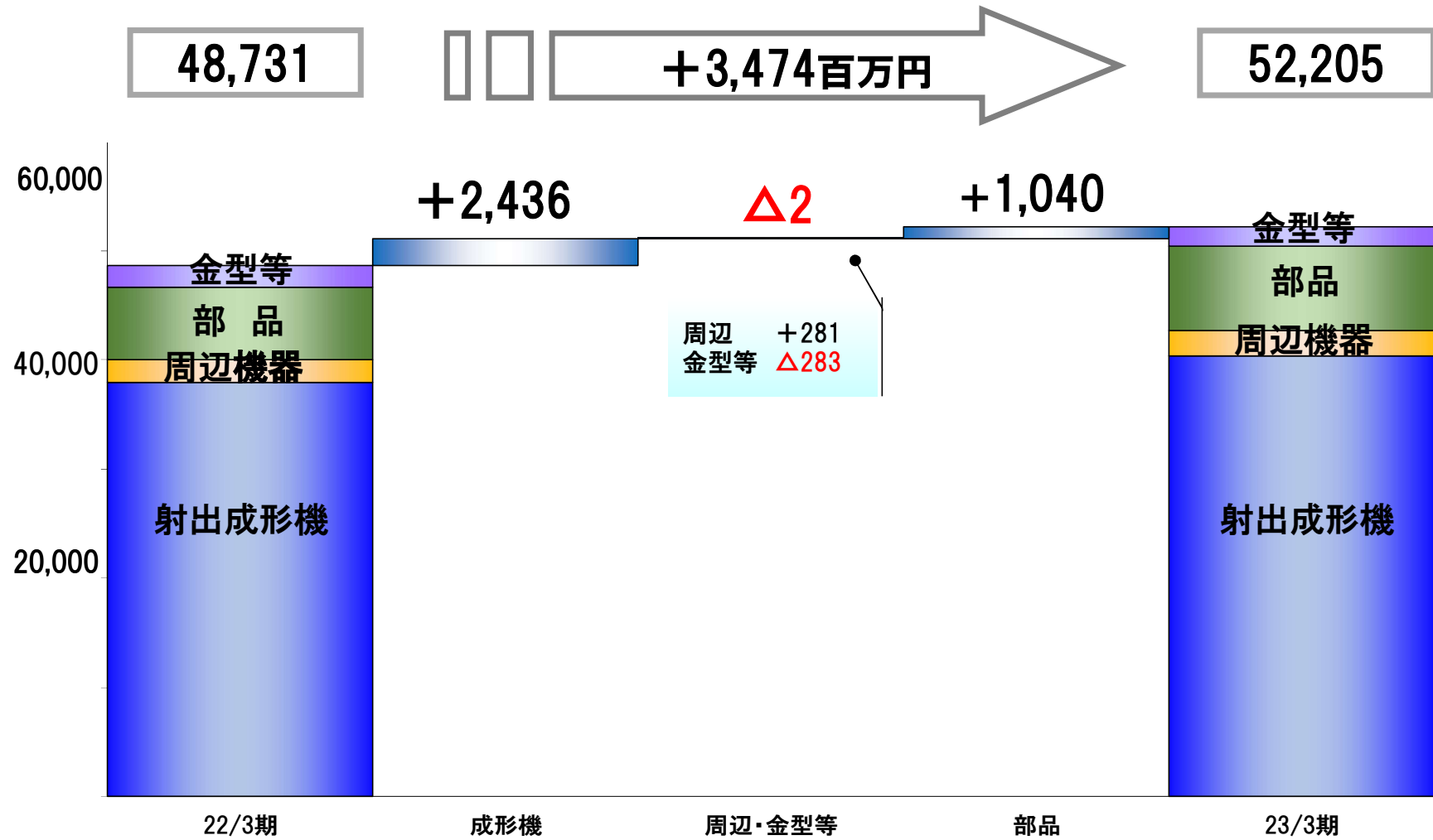
単位：百万円、比率%

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	37,989	40,425	2,436	6.4
周辺機器	2,040	2,321	280	13.8
部品	6,640	7,680	1,040	15.7
金型等	2,061	1,777	△283	△13.8
売上高合計	48,731	52,205	3,474	7.1
売上総利益	14,400	16,200	1,800	12.5
一般管理販売費	11,822	13,518	1,695	14.3
営業利益	2,577	2,682	104	4.0
経常利益	2,940	2,427	△512	△17.4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,680	1,835	△844	△31.5

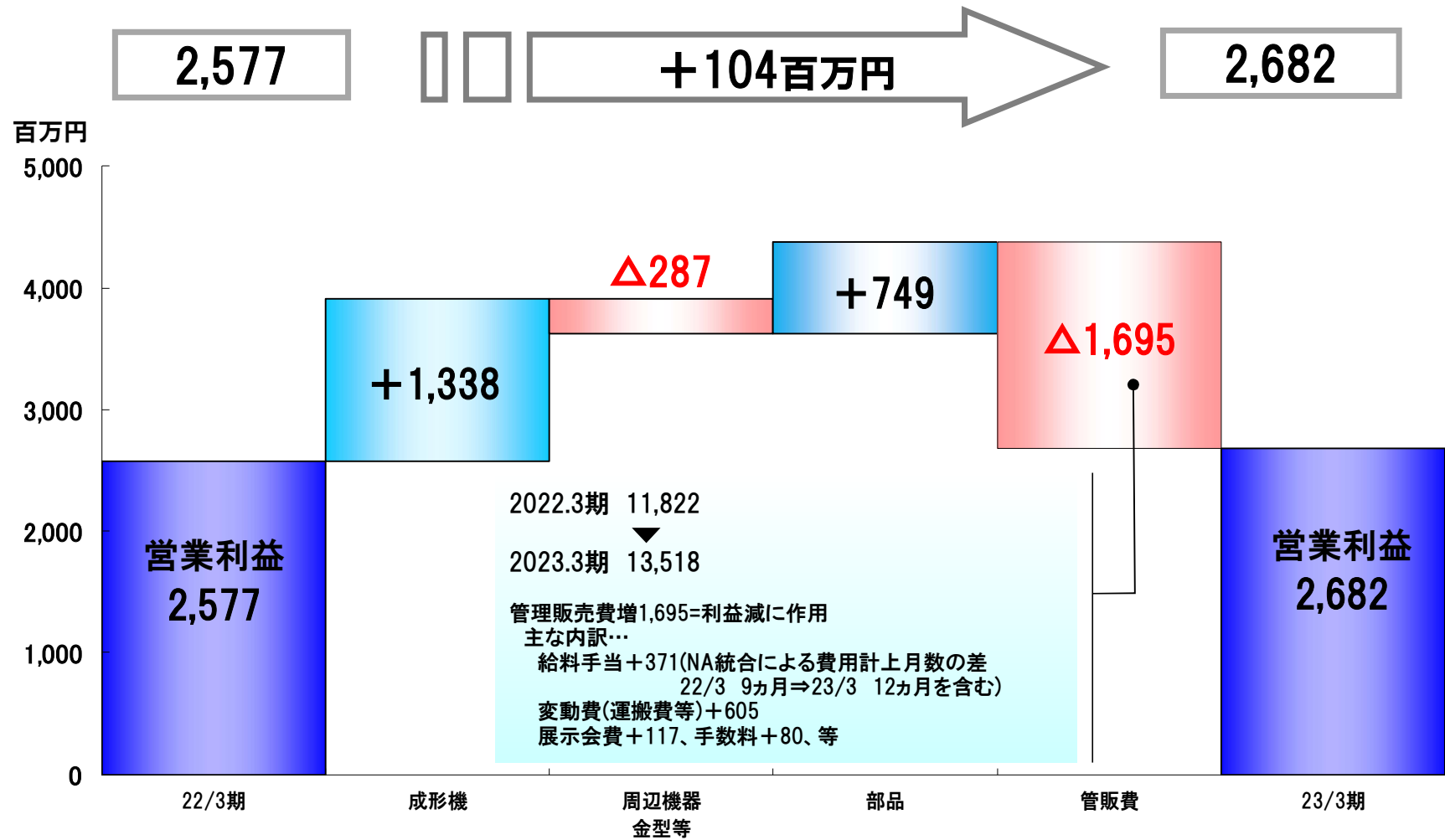
連結売上高(セグメント別)増減 [2022/3期⇒2023/3期]



連結売上高(製品別)増減 [2022/3期⇒2023/3期]

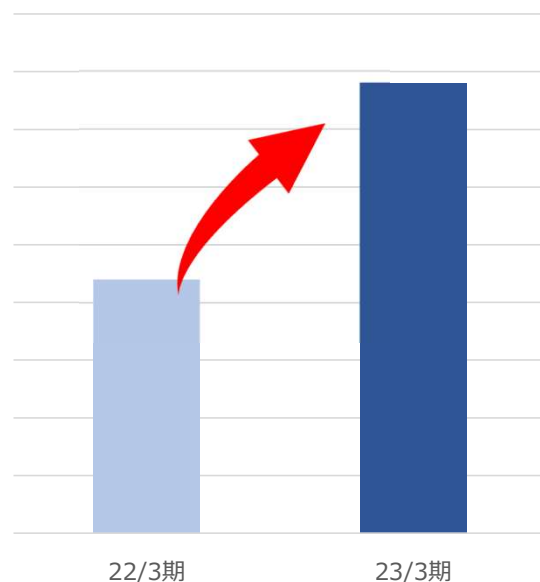


連結営業利益(製品別)増減 [2022/3期⇒2023/3期]

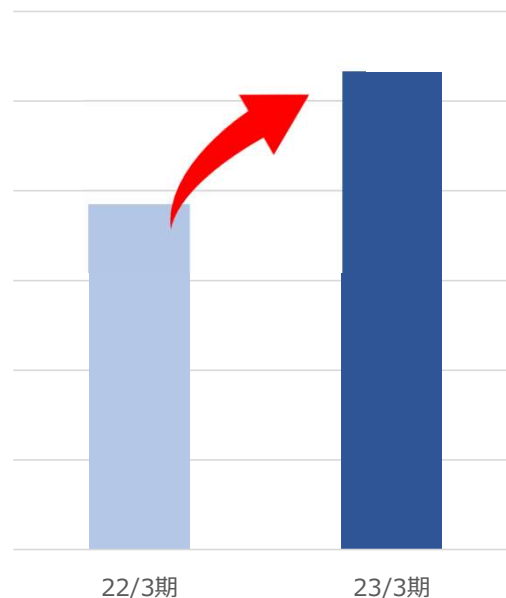


価格上昇 (燃料・原材料等の仕入価格の影響、販売価格への転嫁)

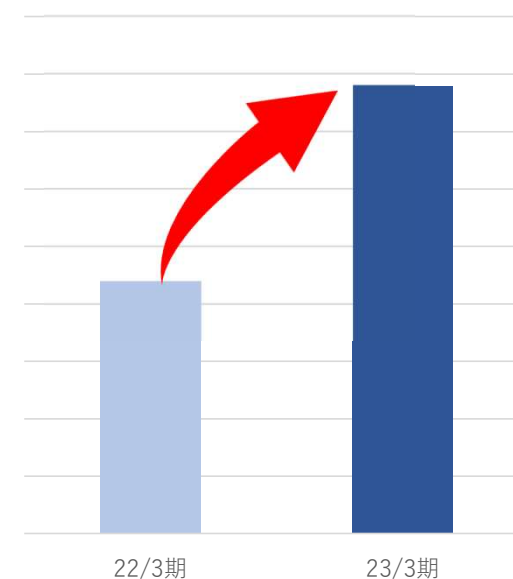
部材等の購入 ※イメージ図



運搬費



水道光熱費



◎仕入部品の値上げ、部材不足の影響

- ・半導体不足や樹脂材料不足でコネクタ類の不足
 - ・調達先工場のロックダウン、素材高騰、運搬費高騰により、サーボモーターや鋳物等主要部品の値上げ
- ⇒前期までに約11億円程度の影響あり

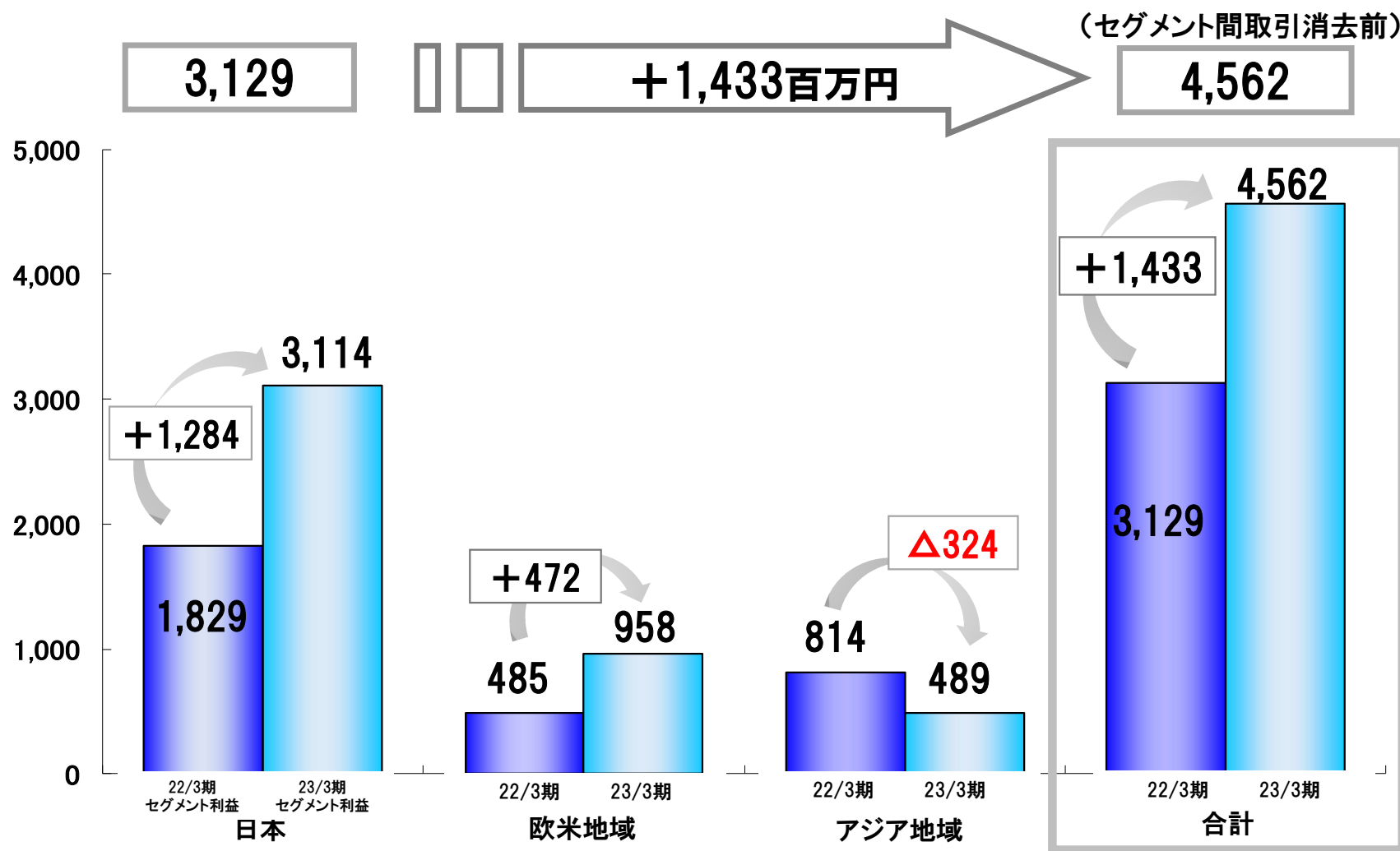
◎運搬・輸出コストの増加

- ・コンテナ不足、原油高などによる影響
- ・航空便・船便の値上げ約60%UP
- ・コンテナ値上げ⇒ピーク時3倍UPだったが期末には概ね元の水準に戻る

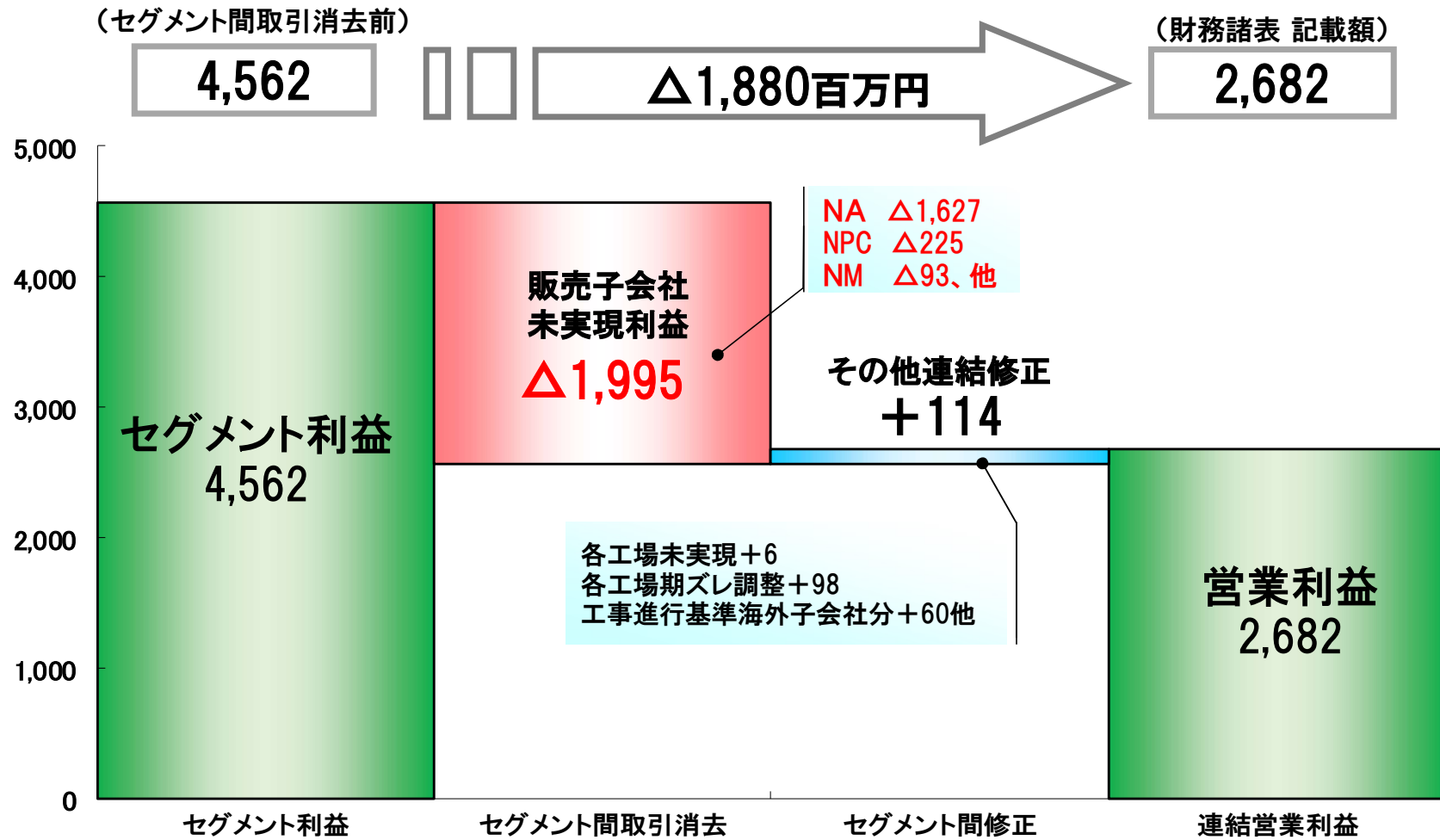
◎電力など水道高熱費の増加

- ・国内…電力値上げ約40%UP
 - ・イタリア…電力約60%UP、ガス約40%UP
- ⇒今後も増加する見込み

連結営業利益(セグメント別)増減 [2022/3期⇒2023/3期]

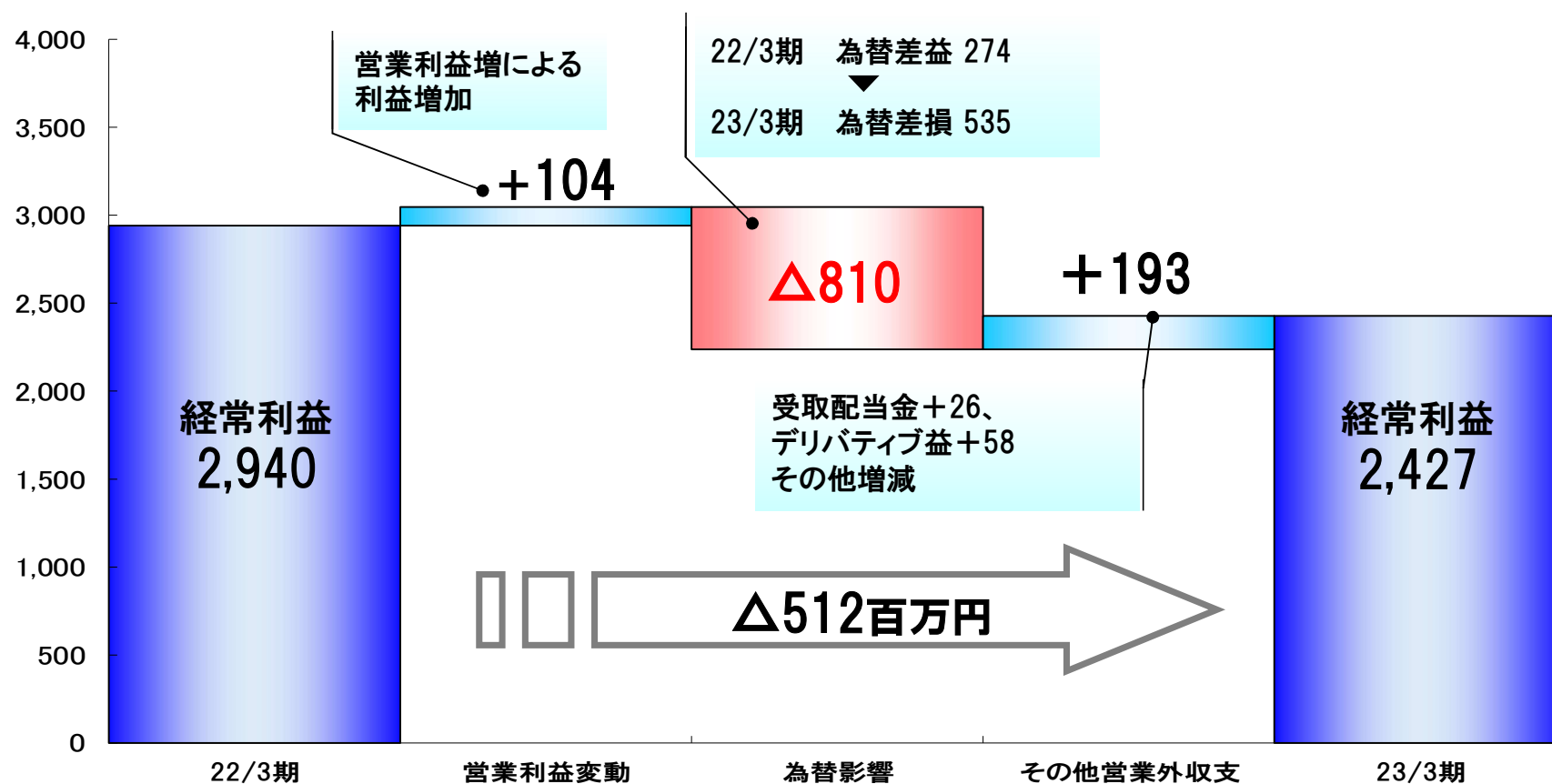


連結営業利益 ～セグメント間取引消去

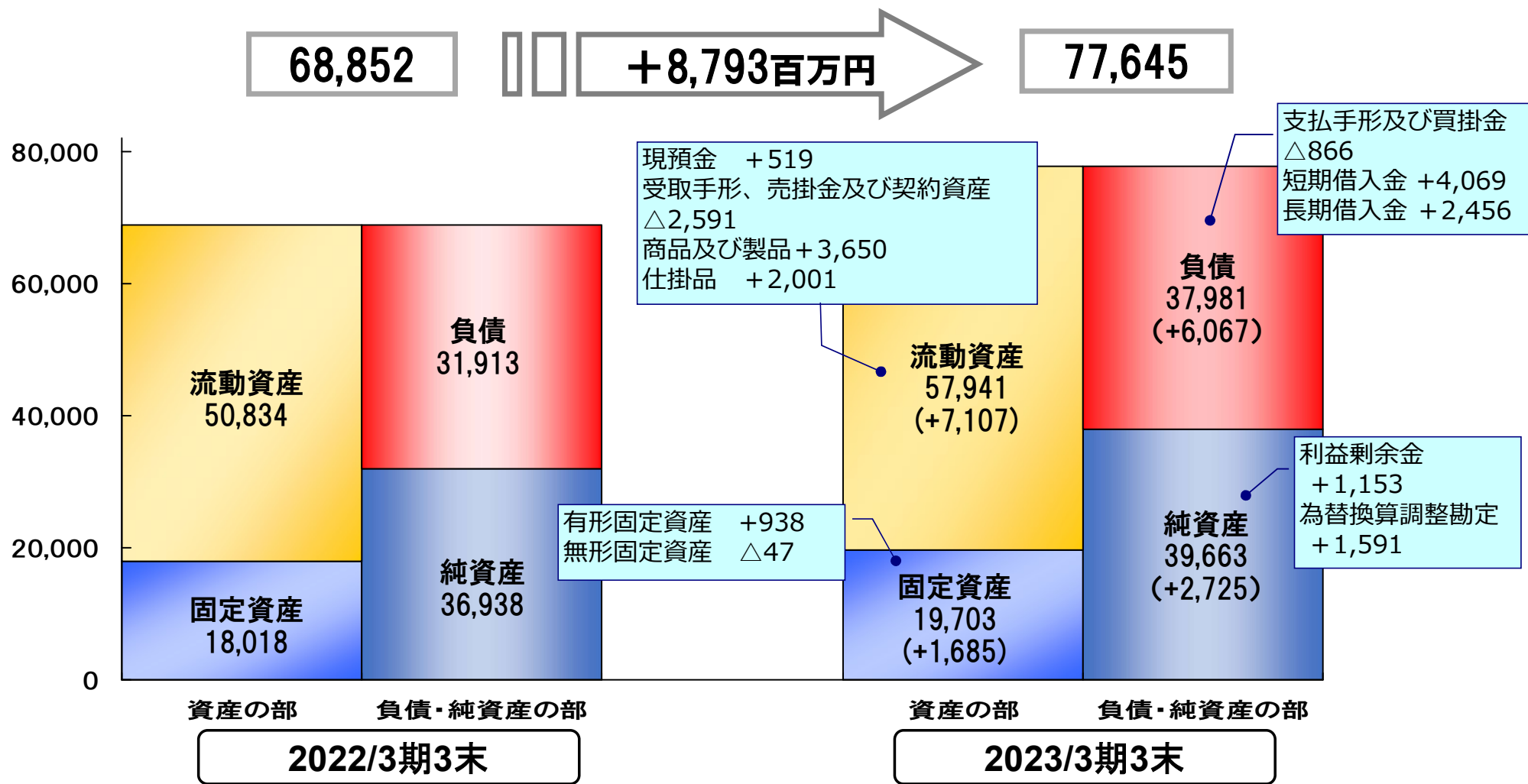


連結経常利益の増減 [2022/3期⇒2023/3期]

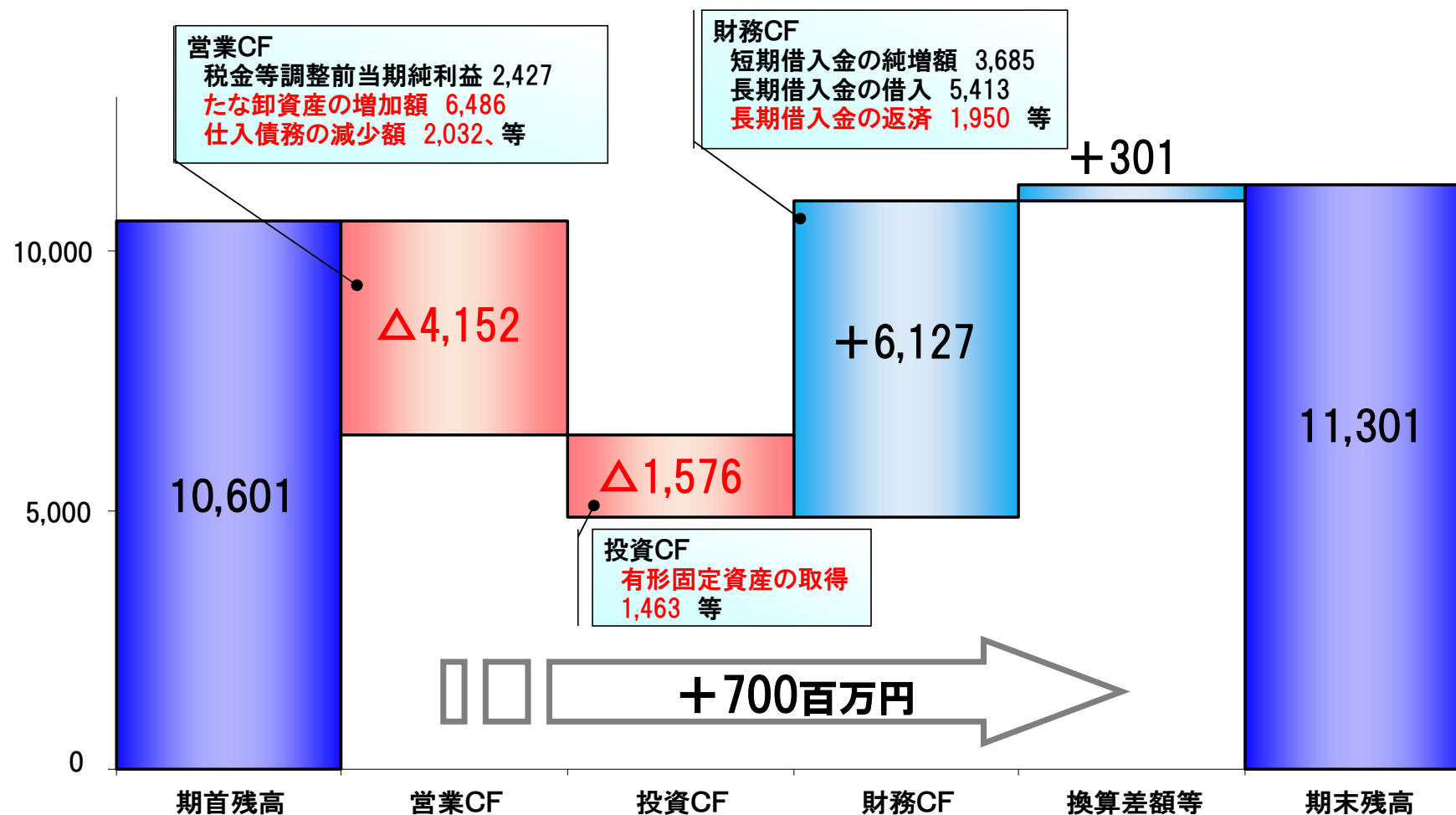
\$円レート: 期初 ¥ 122.39 ⇒ 3/末 ¥ 133.53
 元円レート: 1/初 ¥ 18.06 ⇒ 12/末 ¥ 19.01



連結貸借対照表の増減 [2022/3期3月末⇒2023/3期3月末]



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～

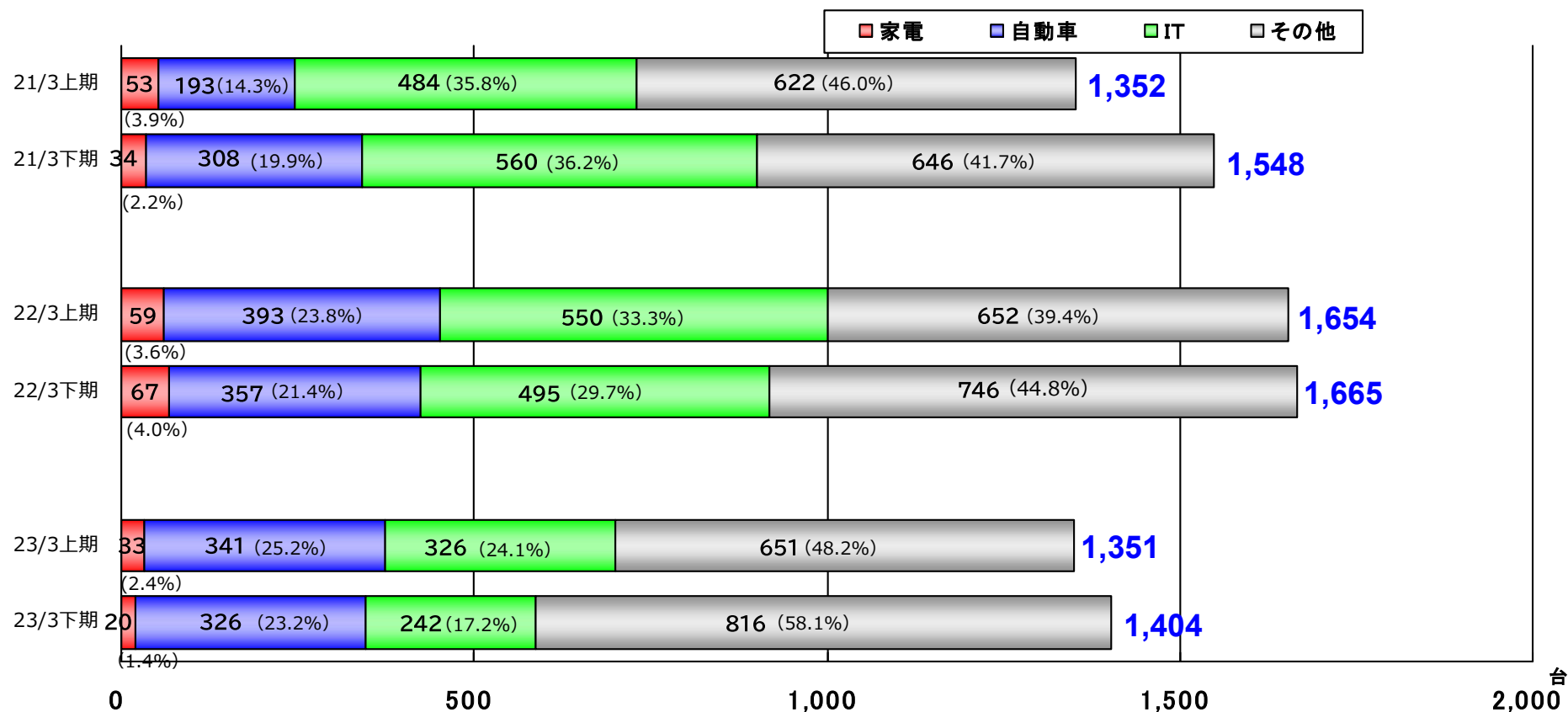


射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2023/3期

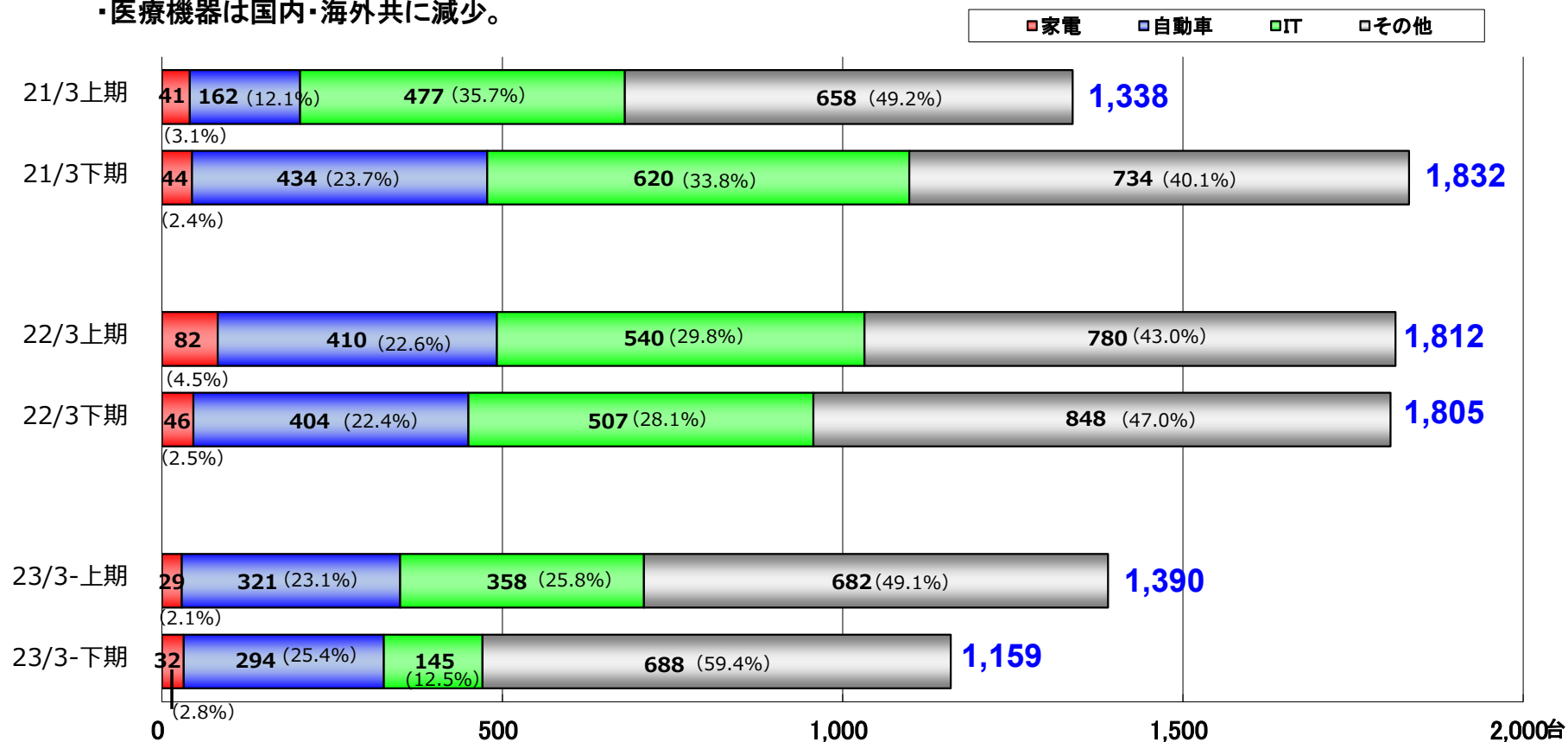
- 自動車…国内海外共に若干停滞
- IT…東アジア中心に大きく減少
- 医療機器…国内横ばい、海外減少



射出成形機の受注推移

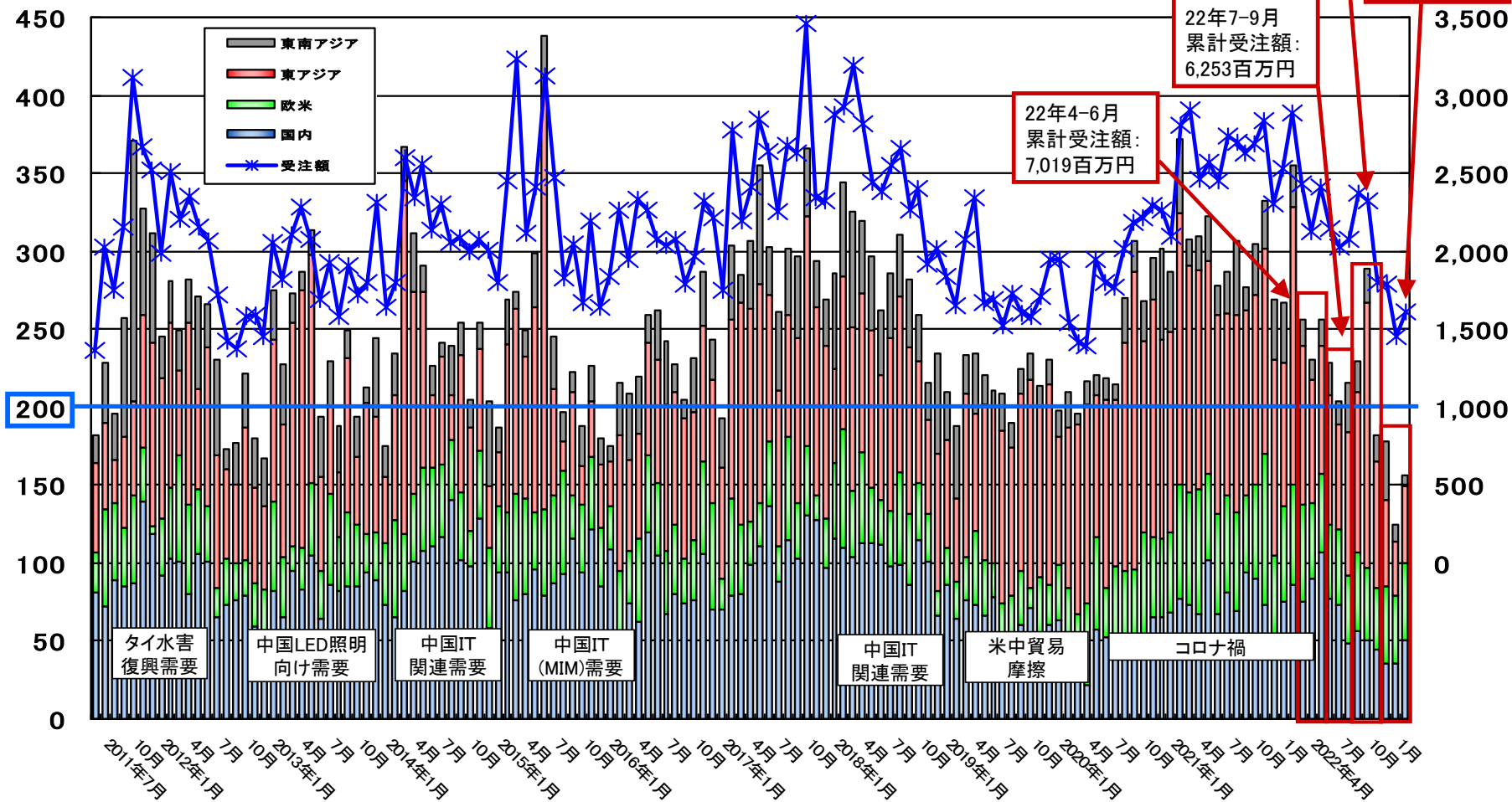
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・23/3期の受注台数は2,549台。前期比29.5%減。
- ・自動車は台数ベースでは、23/3期 615台。前期比24.4%減。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に大幅に減少。
- ・医療機器は国内・海外共に減少。



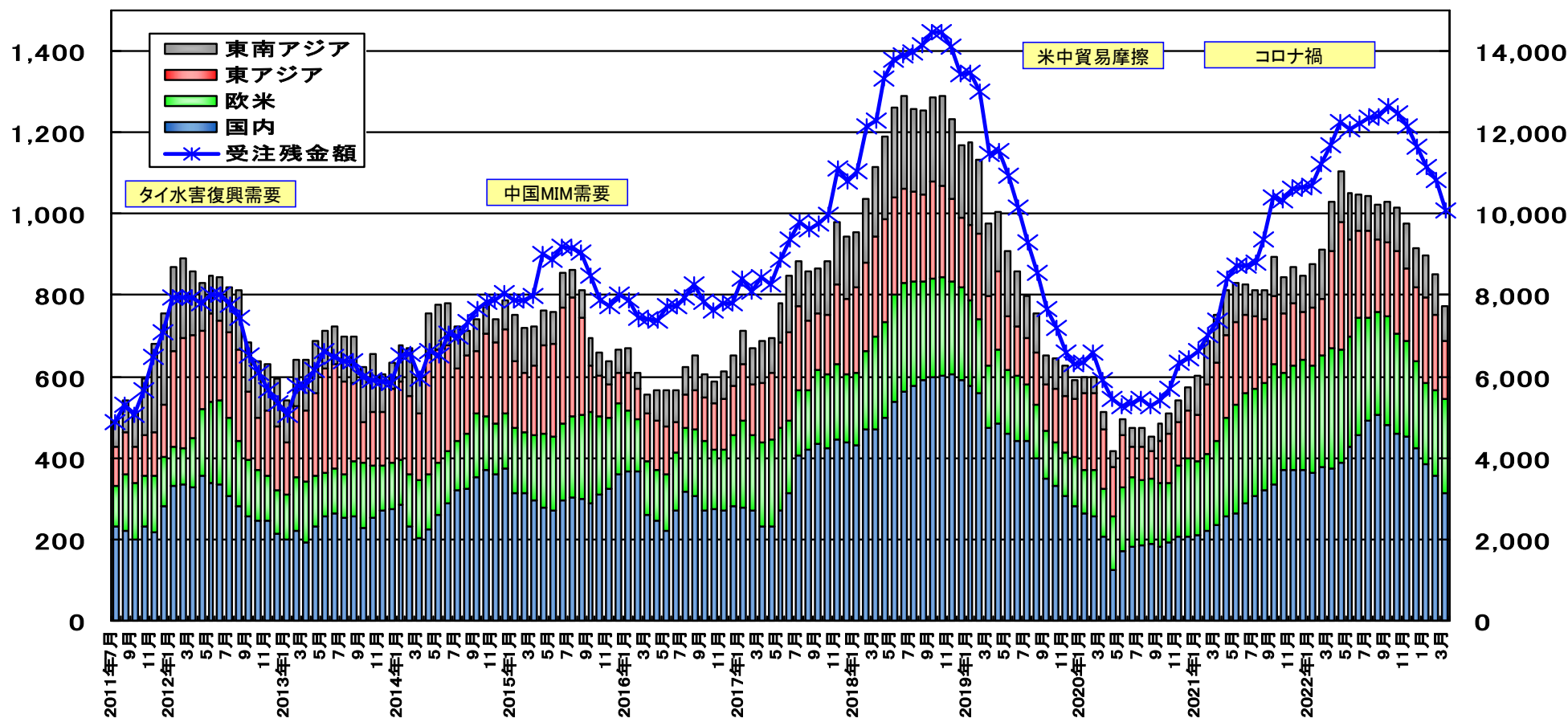
射出成形機の地域別受注台数推移(当社)

欧米の利上げやエネルギー価格の上昇、中国の景気減速が不透明感に繋がっていることもあり
2022年に入り若干停滞していた需要に大きくブレーキがかかっている状態。足元4Qは月度受注150台強で推移。



射出成形機の地域別受注残台数推移(当社)

新型コロナの影響により減速した需要も2020年8月を境に増加に転じていたが、国内外で自動車関連の需要を中心に積み上がった受注残が徐々に出荷され、足元では受注残台数、金額とも漸減。



トピックス

“自社株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ”を開示 2023.5.12

✓ 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とし、株主還元の充実を図るために、自己株式の取得を行うものです

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	500,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.56%)
株式の取得価格の総額	600,000,000円(上限)
取得期間	2023年5月15日～2023年12月31日

Inclusive Growth

“社会を真に豊かにするプラスチックの新しい価値を創造する”をテーマに
『環境』視点に立ち各種ソリューション技術を提案



環境



100%植物由来のプラスチック
PLAは土に還る



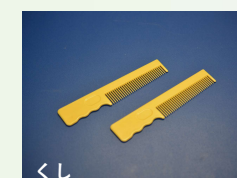
PLAカトラリー
FNX180Ⅲ-36A
木粉コンポジットPLA

土に還る材料と独自の技術で
プラスチックボトルをつくる



PLAボトル
NEX180V-25E
PLA (ブローグレード)

植物由来プラスチックの
PHA(PHBV)は海に還る



くし
NEX80V-9E
PHBV (海洋分解性樹脂)

捨てられるプラスチックも
サンドイッチ製法で再利用



リサイクルプラハンドル
FN180-25AD
コア：粉砕PP100%

100% 植物由来の樹脂を
世界でいちばん薄く、透明に



PLAシャンパングラス
NEX280V-25E
木粉コンポジットPLA

紙とでんぷんでつくったプラスチック
のようなパルプ成形品



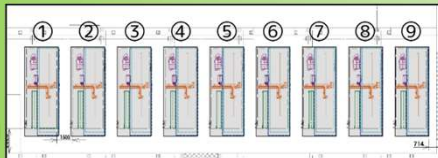
パルプカップリッド
NEX110V-18EPI
パルプ材

サステナビリティ…環境(工場環境に対するアプローチ)

“環境対応素材の利用技術をはじめ、
省資源・省エネ・省スペース・省人化(自動化)といった『省』の技術”

環境

□他社機の場合
横トラバース



他社機

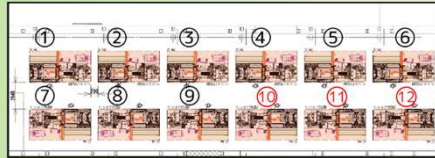
9台

FWX

→ 12台

生産能力
1.3倍

□FWXの場合
横トラバース



縦トラバース



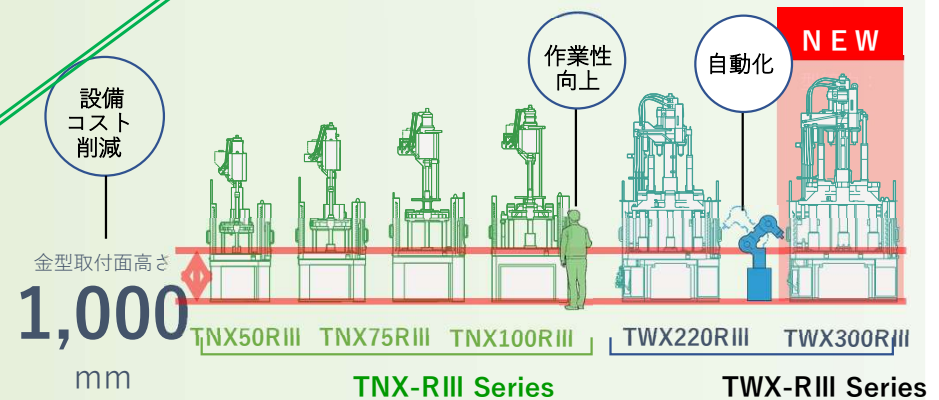
= 製品回収の効率◎

省資源

省人化
(自動化)

省エネルギー

省スペース

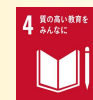


サステナビリティ…社会

地元の特産品を中心とした株主優待品をお届けし、
全国にアピールするとともに地元の産業の興進に貢献



近隣小学校・中学校でのSDGsに関する出前授業・本社工場見学会を実施



当社は、環境経営の実践強化を重要な経営課題として、その中の一つとしてSDGsに対する取組みを
実践しております。2023年度は、近隣小学校・中学校でSDGsをテーマにした出前授業を実施、また出前授業
を受けた小学生対象に本社工場見学を開催しました。

社会



日精スクール対面での授業再開

2020年3月から休校していた射出成形に関する技能研究機関『日精スクール』の対面での研修を再開
海外拠点でのスクールについても現地のコロナ感染状況に応じて調整し、対面での研修を再開していく予定。



サステナビリティ…人財

『プラチナくるみん』

・子育てサポート企業として、厚生労働大臣より認定

当社は、社員の仕事と子育ての両立を支援する取組を推進しており、男性社員を含めた育児休業の取得促進・在宅勤務制度・再雇用制度などの取組が評価され、2021年6月、最高水準である「プラチナくるみん」の認定を受ける



『職場いきいきアドバンスカンパニー』

・長野県が定める認証制度、仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や雇用の安定を進め従業員がいきいきと働き続けられるよう多様な働き方の制度を導入し、実践的な取組を行っている企業として「アドバンスプラス」を認証



『えるぼし認定』(認定段階2)の認証

・女性活躍促進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する取組の実施状況が優良な企業を認定する制度で、えるぼし認定要件の5項目のうち4項目をクリアして認定段階2の認証を受ける



認証を受けた
2段階目マーク

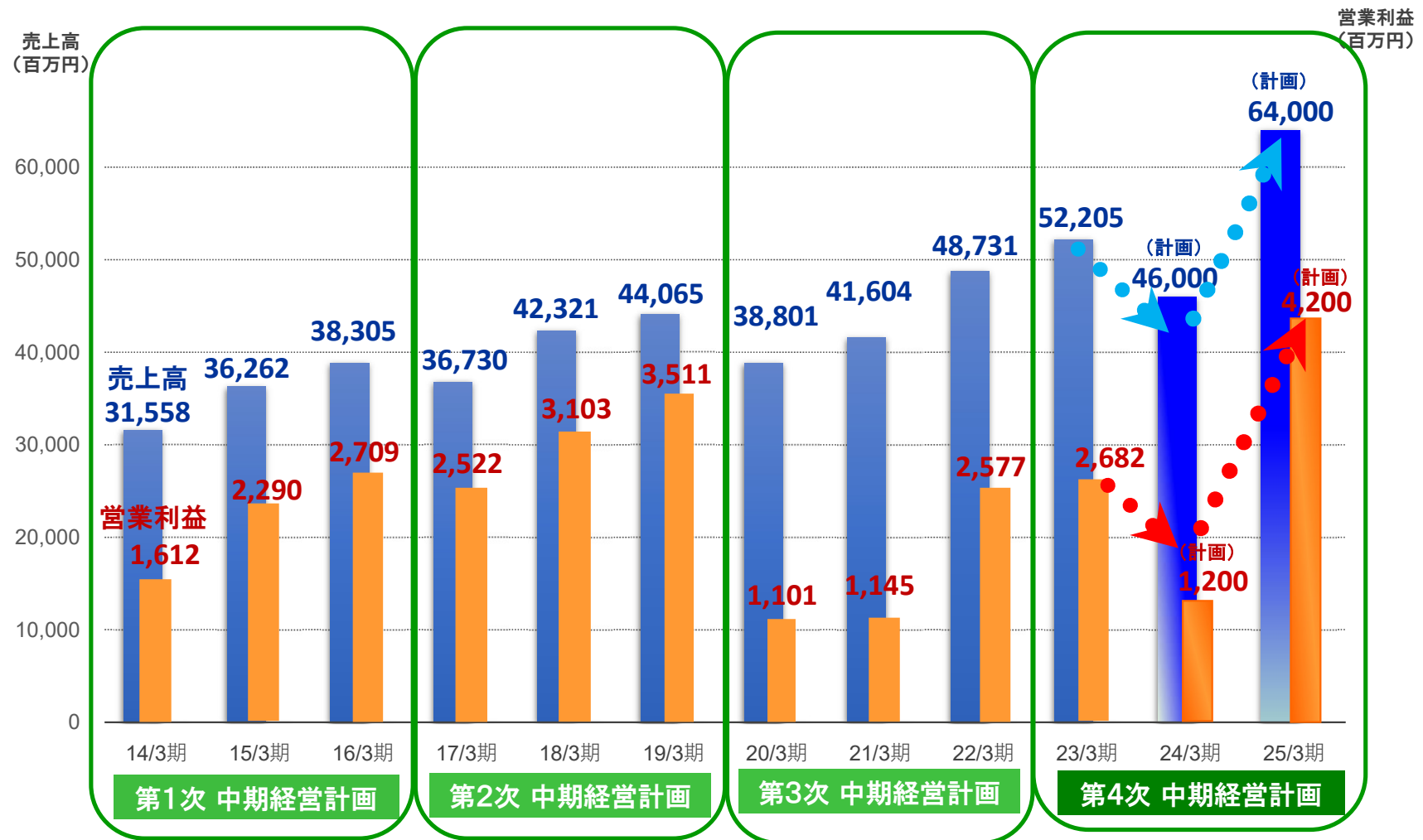
健康経営優良法人2023(大規模法人部門)に4年連続で認定されました

・当社は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する健康経営に取り組んでおります。社内喫煙法率の低下、メタボ率の低減等の取組が評価され、4年連続4回目の認定を受けました



人財

連結売上高・営業利益推移



中期経営計画の歩み

～2015年度	2016～18年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022～2024年度
<p>第1次中期経営計画 2006.10 上越工場を取得、操業を開始</p>  <p>2009.7 初の海外生産拠点 中国太倉工場を設立</p>  <p>2012.5 タイ工場を設立</p>  <p>2015.1 中国太倉工場を 拡張移転</p> 	<p>第2次中期経営計画</p> <p>2017.8 累計販売13万台達成</p> <p>2017.10 ホンマ・マシナリーを 事業承継</p>  <p>2017.10 創業70周年</p> <p>2018.3 米国テキサス工場が 稼動開始</p>  <p>2018.12 東欧スロバキアに 販売現法設立</p> <p>2018.12 インド・チェンナイに</p> <p>2019.1 支店を開設</p> <p>QC棟が完成</p> <p>2019.3 九州営業所を移転</p>	<p>2019.9 中国太倉工場を 増築</p>  <p>2019.10 K展出席</p>  <p>➢SDGs実現への取組み 欧州、環境対応技術 (PLA等)拡販</p> <p>2020.1 NEGRI BOSSI S.P.A. 株式等取得</p> 	<p>IPF JAPAN 2020 Virtual</p>  <p>2020.10～12 プライベートフェア開催</p>  <p>2020.11 低床型 TWX220R,300Rライ ンナップ</p>  <p>2020.12 累計販売14万台達成</p> <p>2021.1 FWX2050受注開始</p> 	<p>2021. NEGRI BOSSI S.P.A. 土地・建物買取り</p> <p>2021.7 米国販社・米国工場 の統合 ⇒新 NISSEI AMERICA</p>  <p>➢生産体制強化 米国：製販力強化、 ネグリ・ボッシ社とのコラボ 日精ホンマ、大型機生産</p> <p>2021.10 西日本PV展</p> <p>2021.12 本社PV展</p>  <p>2022.2 信州ブランドアワード 大賞受賞</p> <p>2022.3 NISSEI (MALAYSIA) 子会社化</p>	<p>第4次中期経営計画</p>  <p>2022.4 東証 プライム上場</p> <p>2022.6 本社PV展</p> <p>2022.9 西日本PV展</p>  <p>➢ 2022.10 K2022 ネグリ・ボッシ社とのコラボ</p> <p>2023.6 太倉滝田金属製品有限公司 持分譲受</p> <p>2023. 中国海塩工場完成 ⇒生産、加工能力強化</p> <p>2023. 米国工場 ⇒大型機生産能力増強</p>  <p>➢ 2023.11 IPF2023</p>  <p>➢ 2024.5 NPE2024</p>

中国生産子会社海塩工場の新工場建設着工

中国第二の生産拠点となる日精塑料機械(海塩)有限公司の新工場建設着工

2023.2.10

▼完成イメージ図



▼着工の様子



社名:日精塑料機械(海塩)有限公司
所在地:中華人民共和国浙江省海塩県
事業内容:射出成形機の組立、部品加工
出資比率:日精樹脂工業株式会社100%
資本金:10億円
生産開始:2023年中(予定)



“太倉滝田金属製品有限公司の持分を当社が譲り受けることについて 譲受契約を締結することを決議しました”

2023.5.24

✓ 持分譲受の理由

太倉工場のサプライチェーンの維持、板金部品等の原価低減をより進めるうえで太倉滝田の持分を譲受することが、当社グループにとって有益であるとの考えから親会社の株式会社滝田と持分譲渡契約の締結について合意に至りました。

✓ 対象会社の概要

1	名称	太倉滝田金属製品有限公司
2	所在地	中華人民共和国江蘇省太倉市高新区東亭北路155号
3	事業内容	プレス、板金、ハーネスの製造販売
4	資本金	1百万ドル
5	大株主及び持株比率	株式会社滝田 100.0%

2024年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2024年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2023/3期	2024年3月期 連結計画			
	実績	第2四半期累計	増減率%	通期	増減率%
売上高	52,205	21,000	△15.9	46,000	△11.9
営業利益	2,664	400	△75.0	1,200	△55.3
(利益率)	5.1	1.9	—	2.6	—
経常利益	2,442	500	△70.7	1,300	△46.5
(利益率)	4.7	2.4	—	2.8	—
当期純利益	1,836	400	△68.2	900	△51.0
(利益率)	3.5	1.9	—	2.0	—

全国統計で直近過去5か月前年比△30%の受注水準、当社の受注水準、部品不足が一定程度続くこと、自動車関連需要の低調、インフレ懸念に伴う投資マインドの停滞等を勘案し減益幅が大きい

下期にかけて需要回復・受注回復を期待⇒自動車EV関連、容器雑貨等インバウンド効果、部品不足の解消等を踏まえ、下期回復の計画。生産量は前期末の在庫水準を加味して、生産台数抑制気味としている。

連結設備投資・研究開発計画

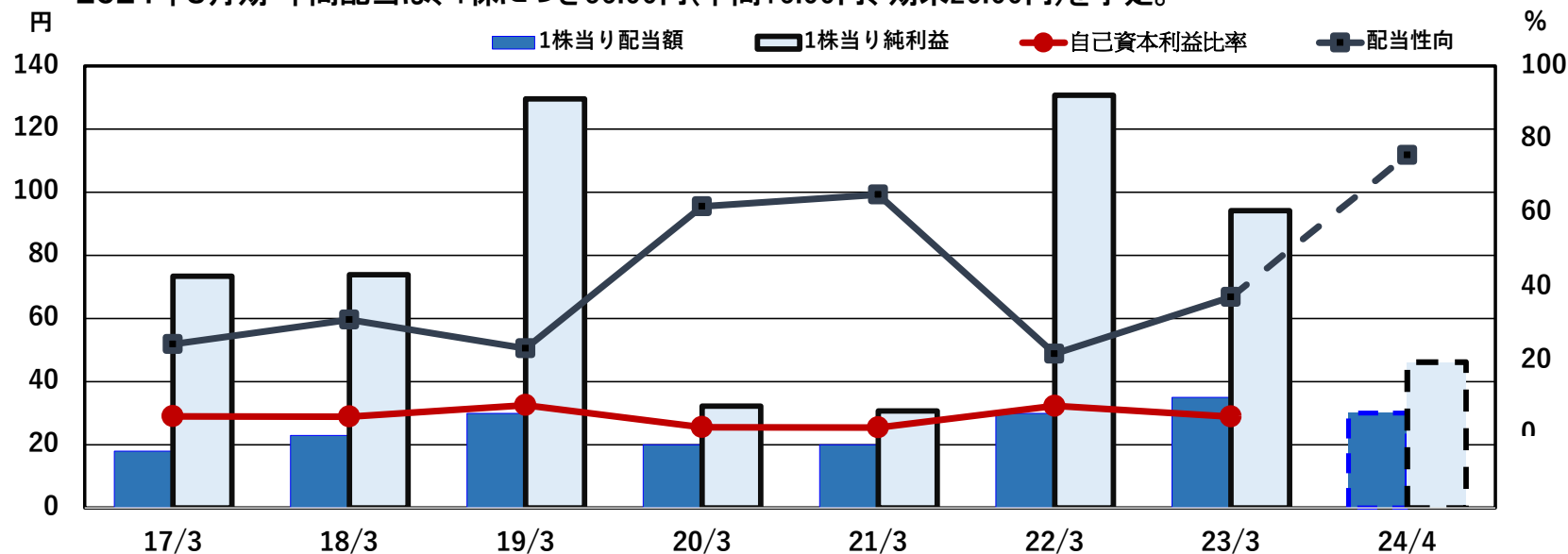
単位：百万円

	2024年3月期計画 ()は予算申請分	
主な設備等	本社	
	インボイス制度・電帳法等対応ソフトウェア	41
	第7・8工場水害対策、止水板設置	90
	NL05、レトロフィット	40
	ホーニング盤増設(内径仕上げ)	62
	第4・7・8工場天井照明LED化	44
	太倉工場 NEXVT機底盤、トラック等	25
	タイ工場 部品倉庫、車両等	5
	(日精メタル 設備増強)	(544)
	(日精ホンマ 設備増強)	(314)
その他維持投資等	141	
設備投資総額	517	
本社出資	中国第2工場(海塩工場)出資	1,500
減価償却費		1,460
研究開発費		386

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2024年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間15.00円、期末20.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期 (予推)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	94.13円	46.15円(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円(予)
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円(予)	20.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	37.2%	75.8%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	4.8%	—



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
